



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第一七七号）

穀雨

四月二十日

両陛下下の伊勢行幸啓

先月の末、天皇皇后両陛下が伊勢へお越しになりました。式年遷宮を終えた伊勢神宮へ参拝されるためです。

今回は「剣璽」を動座されるといので話題になりました。剣璽とは、皇居に奉安されている神器の剣と勾玉のことで、伊勢神宮の参拝以外では外に出されることはありません。二〇年前の遷宮後の参拝にも剣璽をお持ちになりましたが、これほど話題にはなりませんでした。それだけ、古儀などに興味が集まるようになっていくからでしょうか。

私は両陛下下の御料車に続く「お列」に同行取材をさせていただきました。近鉄宇治山田駅にお着きになった際、すぐ後ろに侍従二人が黒色のケースで剣璽を持っており、陛下の車のすぐ後ろの車の後部座席に乗り込むのが見えました。剣は細長いケースでしたのですぐにわかりました。大切な神器を参拝の折りに動座するのは戦後途絶えていましたが、神社界の厚い要望があり、第五〇回の遷宮の翌年（昭和四九年）から復活しました。皇室の祖先につながる神、天照大神をまつる伊勢神宮はやはり特別なお宮だからでしょう。

それにしても伊勢は大変な奉迎ぶりでした。お列バスから旗を振る沿道の方たちを見ていると、笑顔であふれていました。車いすに乗った高齢者の方々、揃いのスモックを着た保育園児たち、スーツ姿で二〇〇〇人が校門前で迎えた大学生一同。両陛下の車はそのたびにスピードを落とし、笑顔で応えられていました。

そして、夜には内宮前の浦田駐車場から宇治橋前までを市民二〇〇〇人が集まり、提灯行列が行われました。おほらい町の店の軒下は奉祝の提灯が掲げられていました。奉祝の春灯です。

文 千種清美

